

おばま 市議会だより

No. 185

夏休みに
議場を開放
しました

令和6年度決算を認定
議場見学ツアーの参加者を募集中

裏表紙に、議場開放の様子を掲載しています

令和6年度決算を

認定

一般会計

歳入 182億4,958万4,711円

歳出 175億8,703万1,756円

決算審査は、市の予算が適正に目的どおり使われているかを審査し、今後の予算編成や将来の財政計画に反映するための重要な役割を担っています。審査に当たっては、金額や数値に間違いがないだけでなく、適法性を確認したほか、効果的に執行されたかといった点を重視しました。

市長交際費

50万8205円

説明

市長等が円滑な行政執行のために、外部との交際に要した経費

問

令和7年1月の実績を見ると、会合への出席に伴う会費の支出件数が非常に多いが、市長の健康面や翌日の公務への影響はなかったのか。

答

年始は新年会等への出席依頼が多く、過密なスケジュールとなったが、適宜調整して対応した。市長の健康面や公務への影響はなかった。

児童館・児童センター運営管理経費

1076万1186円

説明

児童館および児童センター4施設の児童厚生員の報酬および施設の運営費

問

施設の今後の運営方針は。



答

児童館および児童センターは、子供の居場所づくりの観点から重要な施設であり、必要な数を確保しなければならないと考えているが、利用者が極端に少ない施設については廃止も視野に検討している。

企業誘致戦略策定事業

532万3780円

説明

企業誘致戦略を策定するに当たり、有識者からなる検討委員会の開催と将来に向けた誘致の方向性やターゲット企業を明確化するためのアンケート調査等の実施に要した経費

問

策定した企業誘致戦略を基に取組みを進めるに当たっての具体的な方針は。

答

企業誘致戦略において、資源活用・先端産業誘致・にぎわい創出・食関連産業誘致の四つの企業誘致重点エリアを設定し、各エリアの特性に応じた企業の誘致を進めたいと考えている。

誘致活動の強化については、市にゆかりのある企業や著名な方々に企業誘致アドバイザーとして協力いただくなど、幅広い分野を対象に誘致活動を展開する。加えて、市の強みである食や自然、文化などの豊富な地域資源や幸福度ランキング日本一に選ばれ続けている福井県の環境、安価な電気供給・支援制度などを積極的にPRすることを考えている。

北陸新幹線

早期着工への熱意よ届け！

～ 嶺南6市町議会が意見書を提出へ～

小浜市議会では、北陸新幹線の早期全線開業を目指し、10月8日付で国に意見書を提出しました。これは嶺南の6市町の議会が足並みをそろえて意見書を提出するもので、嶺南が一丸となって取り組む強い意思を表しています。

本市議会の要望項目は、右のとおりです。

みんなでつなごう
北陸新幹線



【要望項目】

- 沿線自治体や地域住民等に丁寧な説明を行い、理解促進に努めるとともに、敦賀・新大阪間の環境影響評価および北陸新幹線事業推進調査を迅速に進め、令和7年末までに詳細な駅位置・ルートを決定・公表するとともに、早期の認可・着工を実現すること。
また、一日も早い全線開業につなげるための方策として、小浜先行開業を検討するなど、開業までの期間を最大限短縮すること。
- 貸付料の算定期間延長や国土強靱化に資する部分を全額国費で負担するなど、財源の議論を加速させ、着工5条件の早期解決を図り、一日も早い全線開業を実現すること。
- JR小浜線は特急が運行されておらず、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、敦賀・新大阪間の整備に伴う並行在来線には該当しないことを明確にすること。

決算認定に伴う視察を実施

予算決算常任委員会では10月1日、令和6年度の決算審査の一環として、次の3力所の視察を行い、予算が適正に執行されたことを確認しました。

■視察先・事業内容

- ① 芝浦自販機株式会社
設備投資支援（駅前町・下の写真）
- ② 宿泊施設「椿とことほ」
整備支援（小浜飛鳥・左の写真）
- ③ 「母と子の家」
医療的ケア児への対応等のための増築支援（後瀬町）



しつらえの美しさとおもてなしの心が際立つ室内（②）



工場内で社員の説明にじっくり聞き入る（①）

くまなくチェック 委員会審査



9月補正予算の審査

市民体育館に空調設備を設置するための工事費用などが盛り込まれた9月補正予算案を可決しました。審査の過程であった主な質疑は、次のとおりです。

■ 可決した令和7年度9月補正予算

会計名	既決予算額	補正額	補正後予算額
一般会計	174 億 2,404 万円	4 億 9,136 万円	179 億 1,540 万円
特別会計	73 億 7,472 万円	1,845 万円	73 億 9,317 万円
企業会計	48 億 5,694 万円	158 万円	48 億 5,851 万円
合計	296 億 5,570 万円	5 億 1,139 万円	301 億 6,708 万円

端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

市民体育館に エアコンを

市営体育施設管理事業
1 億3,970万円

来年7月をめどに小浜市民体育館に空調設備を設置するため、その工事にかかる費用を追加するもの。

※体育館は、工事期間中もご利用になれます

問

財源に補助金ではなく地方債を充てることにした理由は。

答

補助金の活用も検討したが、地方債の中でも充当率と交付税の算入率が共に高い地方債を活用した方が市にとって有利であると判断したためである。



空調設備を設置する小浜市民体育館

タクシー活用実証事業

797万7000円

説明

今後の小浜市における最適な交通施策を検討することを目的とし、市内の75歳以上のモニターを対象に、居住地エリアと中心市街地エリアとの行き来におけるタクシー利用にかかる費用の一部を助成する、タクシー活用の実証事業を行うための経費を追加するもの。

問

利用金額のうち、500円を超える分の費用を助成することだが、1回の利用金額がどの程度の額になることを想定して経費を算定したのか。

答

市街地から最も離れたお宅から、市街地にある目的地までタクシーを利用した場合、最大で七千円程度になることを踏まえて算定した。

問

実証実験の期間中に6回まで助成を受けることができるとのことだが、タクシー利用における助成回数の確認をどのように行うのか。

答

モニターには申請時にカードを配付し、タクシー乗車時に提示いただくこととする。そのカードを読み取ると、残りの助成回数が表示される仕組みを採用する予定である。



道路維持管理経費

6187万2000円

説明

車両や歩行者の安全な通行を確保するため、市道の維持管理を行うもので、本補正は道路の修繕等の要望を受けて事業費を増額するもの。

問

各区の区長等から受けている要望等の件数や対応の優先順位付けの基準等は。

答

市内全域から約330件の要望が寄せられており、国や県が対応する大規模な案件を除く約170件については市が対応し、この補正でその68%に対応することが可能である。しかし、予算には限りがあり、全ての要望に応えることは困難であるため、要望のあった全ての現場を確認し、損傷の程度や緊急性、交通量などを考慮して優先順位を付け、予算を配分している。

条例の審査

小浜市附属機関設置条例の一部改正について

説明

小浜市北陸新幹線新駅周辺エリア基本計画策定委員会を設置することに伴い、所要の改正を行うもの。

問

新駅の詳細な位置が決定されていない段階で当委員会を設置する理由は。

答

昨年8月に新駅のおおよその位置が公表され、鉄道・運輸機構が今後新駅の構造設計等を進めるに当たり、市として新駅周辺エリアの将来像を同機構に示す必要がある。また、本計画は、改定時期を迎えている都市計画マスタープランと密接に係るものであり、同じ時期に策定することが望ましいためである。

請願の審査

パレスチナにおける人道危機への対応を日本政府に求める意見書の提出に関する請願

説明

日本政府が、イスラエルによるパレスチナへの無差別爆撃の即時停止と恒久的な停戦の実現を求めるとともに、パレスチナのカザ地区の住民に食料や水などの支援物資を届けるための対策を講じるよう、国への意見書の提出を求めるもの。

主な反対意見

「請願の趣旨は理解できるが、外交問題は市の権限を越える事項であるため、意見書の提出は適切ではないのではないか」

●●●寄付行為の禁止●●●

議員が選挙区内の人や団体に寄付をすることは、公職選挙法で禁止されています。禁止されている例として、以下のようなものがあります。



政治家は選挙区内の人々に現金や祝品、あいさつ状などを出すことは禁止されています

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- 祭りへの寄付や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病気見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産・入学・卒業・就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状・暑中見舞いなどのあいさつ状
(答礼のための自筆を除く)

議員に寄付をするよう勧めることもいけません。議員に金品を贈ることも禁止されています。皆さまのご理解をお願いいたします。

「現在、国際社会が事態の収拾に向けて尽力しており、意見書の提出には慎重になるべきである」

市政を問う！一般質問

令和7年第3回（9月）小浜市議会定例会

氏 名	質 問 項 目	氏 名	質 問 項 目
武長 由里子	1. 消費者問題について 2. 学校給食無償化について	世戸 玉枝	1. 学校給食無償化について 2. 公立保育園統廃合・民営化計画について
上野 一	1. 鯖街道（針畑越え）の整備・保全・活用	浦谷 梨華子	1. 公立保育園の3歳以上児の主食持参について
藤田 靖人	1. 北陸新幹線について 2. 政策と予算について	小澤 長純	1. 国道162号等の道路整備促進について
池田 英之	1. 市長就任1年を迎えて 2. 水道用石綿セメント管の布設替えについて 3. ドローンの活用について	東野 浩和	1. 女性のキャリア推進について
		下中 雅之	1. 小中学校の統合・再編に対する考えについて 2. 食のまちづくりとブランド戦略について

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。二次元コードを読み取ると、一般質問の様子を動画でご覧いただけます

消費者問題 / 学校給食無償化について

- 問** 若年層、特に10歳未満の子供に対して、どのような啓発・指導を行っているのか。
- 答** 学校では、安易にオンラインゲームなどの課金や個人情報情報の書き込みをしないよう、また困ったときはすぐに保護者や教員に相談するよう指導している。
- 問** より専門的な消費生活相談があった場合、小浜市の相談員はどのような対応をしているのか。
- 答** 福井県嶺南消費生活センターからの情報収集や、福井県が実施する相談員のための電話相談事業を活用し、弁護士などの専門家の見解を確認している。相談員には、新たな詐欺や悪質商法の手口にも対応できる知識の習得が求められるため、日々研さんを積み、相談対応力の向上に努めている。
- 問** 学校給食無償化を実施するに当たり、現在の課題は。
- 答** 無償化に向けた国の制度設計が示されていないため、市の具体的な方針を示せない点が課題である。「自校式地場産学校給食」の継続のため、食材の発注や支払い方法など、公会計化を含めた学校と小浜市教育委員会との役割分担の明確化・マニュアル化、地場産食材の活用に当たっては、生産者の担い手不足なども課題である。
- 問** 令和7年3月に国会で学校給食無償化の予算が成立したが、小浜市の実施時期は。
- 答** 国は令和8年度からの小学校を先行した無償化の実施を示しているため、今後はその制度設計を最終的に確認し、本市の無償化の方針や実施時期を判断したい。



たけなが ゆりこ
武長 由里子



鯖街道（針畑越え）の整備・保全・活用

- 問** 小浜市の計画における針畑越えの位置付けについて伺う。
- 答** 鯖街道および針畑越えについては、本市の総合計画や観光まちづくり戦略、文化財保存活用地域計画などの各種行政計画に定めている。文化財保存活用地域計画においては、針畑越えを「最古の鯖街道の歴史的景観の保存活用区域の中でも、戦略的・優先的に保存活用を推進する区域である重点区域」として位置付けている。
- 問** 安全・安心して観光の方を迎え入れるための針畑越えルートの整備について伺う。
- 答** 「御食国若狹と鯖街道」が日本遺産プレミアムに選定されていることから、今後、針畑越えルートの整備において森林環境譲与税の活用も検討していきたい。
- 問** 伝統的民家群保存活用について伺う。
- 答** 平成30年度に下根来集落と共に県の「伝統的民家群保存活用推進地区」に「根来地区」として指定されており、街道観光の休憩所「助太郎」を中心に景観保全やにぎわい・づくりに取り組む。
- 問** 遠敷峠を中心とした取組みについて伺う。
- 答** 遠敷峠を含む針畑越えの活用として、小学生による鯖街道踏破体験の実施。また、約600人が参加するウルトラマラソンでは、多くのランナーが小浜に宿泊しており、地域に経済効果をもたらしている地域資源とも認識している。今後、地域内外の方々と連携し、針畑越えルート、遠敷峠の保存と活用の取組みを進めていきたい。
- ※ にぎわいとは、場所や状況が活気に満ちて、にぎやかである様子



うえの はじめ
上野 一



北陸新幹線と小浜市政について



ふじ た やす ひと
藤田 靖人



問 北陸新幹線の早期の認可・着工を勝ち取るためには国への要望活動が重要であると考えているが、4月の嶺南6市町の首長による中央要望までの経緯について伺う。

答 昨年12月に駅位置・詳細ルート公表が先送りになったことを踏まえ、嶺南首長の中からは危機感を持って取り組む時期ではないかとの意見があり、年度当初から国への重点的な要望が必要との認識で一致し、決定した。

要望は、駅が設置される当市が中心となつて準備を進め、嶺南市町首長のご意見を伺いながら、県選出の国会議員事務所を通して日程および要望先の調整等を行い、実施したものである。

問 小浜市では「投資を促す」という文言を多用している。ふるさと納税は一般的に自治体への寄付という位置付けだが、地方自治体で言うならば、投資とは「市内のさまざまな活動や取組みについて将来性を見据え、補助金などで市が小浜市内へ予算を投じて行うもの」であり、他者に寄付を促すものではないと考える。「投資を促す」の真意について伺う。

答 ふるさと納税は、制度上は寄付であり、金融的な意味での投資とは異なるものである。

「投資を促す」とは、寄付が地域の資源を生かし、新しい挑戦や将来への備えにつながるという意味であり、ふるさと納税を通じて本市の持続的な発展を実現していきたいという思いを込めて使っている言葉である。

インフラ・災害対応にドローン活用を！



いけ だ ひで ゆき
池田 英之



問 ふるさと納税寄付者と継続的なつながりを持つための取組みは。

答 メールマガジンで市の観光情報やイベントの案内、寄付金の活用事例を発信し「持続的なパートナー」としての関係を育てている。

問 市民との対話と政策実現をどのように調和させていくか。

答 まちづくりへの関心が高まり、市民と行政が共に創る「共創のサイクル」が回り始めている。

問 今後の市政運営をどのように遂行するのか。

答 対話によるまちづくりをさらに進め、あらゆる世代が交わり合い、「挑戦」を応援し合えるまちを実現したい。

問 本市における水道用石綿セメント管の布設状況は。

答 上水道で全体の約1%、簡易水道で約2.7%が埋設されている。古いものでは65年が経過している。

問 石綿セメント管布設替えの必要性和今後の取組みは。

答 老朽化による破損率も高く、布設替えの必要性を認識しており、継続して取り組む。

問 事業のドローン活用現状は。

答 観光PR動画の空撮、農業・肥料散布などに活用している。

問 インフラの維持管理や防災分野におけるドローン活用の可能性は。

答 インフラの維持管理では活用事例を見ながら検討し、災害対応では事業者等と情報交換する。

学校給食無償化／公立園の統廃合・民営化



せ と たま え
世戸 玉枝



問 昨年、市の女性団体が学校給食の無償化を求める署名を集めて要望し、私も昨年の9月議会に質問した。市は、手法や進め方について検討すると答弁されたが、その結果について伺う。

答 地場産食材生産者の担い手不足や地場産食料活用の維持などが課題となっている。無償化後も本市の「自校式地場産学校給食」を守り、継続できるよう検討している。

問 小浜市立保育園の統廃合・民営化について、市が行ったパブリックコメントでは、「公立園でもゼロ歳児保育をしてほしい」との意見がある。若い人のニーズには応えず、子供が減ったからと、地域から保育園を引き上げるのは行政のすることではないと考えるが、市の考えを問う。

答 ゼロ歳児保育については、市内全域で受け皿を確保していく。統廃合については、あくまで子供の育ちという視点から、保護者、関係者と十分協議した上で進めていく。

問 公立園の統廃合・民営化はいつ頃始めたのか。

答 平成19年から前期計画が始まり、現在は後期計画の第4期として取組みを進めている。

問 その頃から情勢は大きく変わった。全国的に保育士が不足、私立園の閉鎖が増加する中、今までどおりの保育サービスが続けられると考えるか。

答 保育士確保のため、県の補助金を活用して処遇改善に取り組むほか、保育士養成を後押しする本市独自の取組みをしている。

公立保育園の3歳以上児に温かいご飯を



うらたに りかこ
浦谷 梨華子



問 夏季における食中毒予防について伺う。

答 保育園等で預かった主食については「小浜市保育園等における給食調理衛生管理マニュアル」に基づき、温度管理した給食室で保管することを基本としている。園児数が多く、給食室での保管が難しい園については、空調管理している保育室で保管している。

特に気温の高い夏季においては、空調管理している保育室では、主食を通園力バンから出して空調設備に近い場所1カ所に集めて保管することや、保冷剤を入れた通園力バンで保管するなど、状況に応じて各園で取り組んでいる。夏季の主食持参に関する食中毒予防策の周知については、園ごとに対応は異なるが、ご飯を冷ましてからふたをすることや、保冷剤を用いる方法を定期的に保護者に配付する園だよりを通じて周知するとともに、降園時などの機会に口頭でも伝えている。その上で、連日の猛暑で気温の高い状態が続いていることから、改めて、主食持参の際の注意事項を保護者に周知することを、全ての園で徹底してまいりたい。

問 園での主食提供を望む保護者の声に対する市の考え方と今後の対応について伺う。

答 今後、広く市内の保護者や保育に携わる関係者の方々のご意見等もお聴きするとともに、全国の事例や県内の動向等を注視していきたい。



国道162号の整備促進を！



おざわ ながすみ
小澤 長純



問 和久里・尾崎間2キロメートルの拡幅は、令和4年度に事業化されている。現在の状況と今後の計画を伺う。

答 これまでに、路線測量や道路予備設計等が実施された。今年度は、関係区への説明会、用地測量や道路詳細設計を行う。次年度以降に、道路用地の買収や物件補償を進め、これらの手続が完了した箇所から順次工事に着手する予定である。

問 尾須ノ鼻のカーブは非常に危険な箇所で、長年の懸案事項となっている。和久里・尾崎間に引き続き切れ目ない拡幅をお願いしたいが、事業化に向けての考えを伺う。

答 和久里・尾崎間が完了後、引き続き尾崎・須縄間の拡幅事業が実施されるよう、県に対し強く要望している。一日も早い事業化の実現に向けて積極的に取り組んでいく。

問 深谷・相生間について、口名田・中名田地区の期成同盟会が長きにわたり要望を続けている、三重橋または深谷入口から上中井バス停付近までのバイパス道路の新設について、どのように考えているのか伺う。

答 市では昨年度から、東相生区において舞鶴若狭自動車道の4車線化に伴う建設発生土の受け入れについて検討を行うとともに、西日本高速道路株式会社と協議を進めているところであり、この建設発生土を有効に活用した道路整備の可能性について、県に対し働き掛けを行っている。バイパス道路の新設についても、積極的に要望してまいりたい。

◆議会活動日誌◆

◆7月

1 (火) 人魚の浜海水浴場浜開き
2 (水) 社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達式

4 (金) 広報委員会

6 (日) 綱女顕彰祭

7 (月) 議会運営委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会

8 (火) 若狭消防組合議会臨時会

9 (水) 公立小浜病院組合議会

10 (木) 全員協議会、広報委員会、福井県原子力発電所準立地市町連絡協議会総会(若狭町)

11 (金) 国道162号・小浜南丹間道路整備促進期成同盟会総会

14 (月) 福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市)

15 (火) 小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会正副会長会議

17 (木) 福井県議会定例会(敦賀市)、小浜市民生委員推薦会、行政視察受け入れ(静岡県富士宮市)

18 (金) 若狭広域行政事務組合議会臨時会(若狭町)

22 (火) 全国市議会議長会建設運輸委員会(東京都内)

23 (水) 福井県行政組合議会臨時会(敦賀市)

24 (木) 小浜市・若狭町総合振興協議会

28 (月) 行政視察受け入れ(長野県長野市)

29 (火) 原子力規制委員長との意見交換会(美浜町)

30 (水) 議会運営委員会

31 (木) 行政視察受け入れ(岡山県総社市)

◆8月

1 (金) 北川改修促進期成同盟会総会、国道162号大手橋・西津橋改修促進期成同盟会総会

4 (月) 箸まつり開会式、京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会および鯖街道まちづくり連携協議会合同による福井県要望(福井市)

女性のキャリア推進で成長路線を！



ひがし ひろかず
東野 浩和



問 現代の若い女性は「やりたい仕事、やりがいのある仕事」を求めていると言われている中、本市企業における女性の就業状況は、従業員数が100人以上の事業所の割合が1%に満たない中、男女比における女性従業員数の割合は約45%となっている。また、15歳から34歳までの女性人口における就業割合は約53%である。

答 女性の働きやすい環境整備の状況は、厚生労働省の「えるぼし認定」企業が1社、また、県の「ふくい女性活躍推進企業」に15社が登録されている。職場環境づくりに取り組む企業を増やすことは重要であり、認定・登録制度の取得を推進していく。

問 女性管理職育成の体制整備の状況は、女性リーダー研修や、キャリアアップの不安解消を図るなど、積極的に取り組んでいる企業もある。今後、企業経営者に対して普及啓発を図るとともに、女性管理職の育成に取り組む企業を応援していく。

問 女性活躍推進には、ジェンダー平等の取組みが必須であるが、その状況は、各地区における研修会、「広報おばま」での情報発信、小浜男女共同参画ネットワークと連携した講演会など、啓発活動に取り組んでいる。また、職場内での意識向上を図るための学習機会の提供にも努めている。

問 今後の市・企業・団体等の連携は、誰もが職場をはじめ、家庭や地域で活躍できる環境づくりに向けて連携を進めたい。

答 今後の市・企業・団体等の連携は、誰もが職場をはじめ、家庭や地域で活躍できる環境づくりに向けて連携を進めたい。

小浜市の食のまちづくりの今後について



したなか まさゆき
下中 雅之



問 市内小中学校の施設について、長寿命化により耐用年数はどれだけ伸びるのか。

答 鉄筋コンクリートの学校施設は、改修することで目標耐用年数は75年となる。

問 学校施設の今後の課題について伺う。

答 全小中学校施設の大規模改修や長寿命化改修には、今後40年間で約19.6億円が必要となる見込みのため、引き続き、応急的な修繕対応を行うとともに、今後、再検証を行う統合再編の方針等を念頭に、計画的に長寿命化改修等を実施したい。

問 これまで本市が25年間取り組んできた食のまちづくりをけん引してきた「食のまちづくり課」を、なぜ「御食国ブランド戦略課」内の1グループに再編したのか。

答 食のまちづくりは、市民・団体・事業者・行政が一体となって築き上げてきた、本市の誇るべき取組みである。これまでの取組みで得られた成果を土台とし、食のまちづくりが持つ大きな可能性を、市全体のブランド戦略と効果的に一体化させる必要があると考え、食のまちづくり条例の理念に基づき、組織改編を行った。

問 食のまちづくり条例の理念に基づき、御食国ブランド戦略課内に食のまちづくりグループを新設したと言うが、今後の食のまちづくり条例の位置付けは。

答 食のまちづくり条例は、単なる一施策の推進を定めたものではなく、本市の御食国としての歴史と誇りを礎に、まちづくりの方向性を示す自治基本条例に準じた、極めて重要な条例である。

24	(水)	総務民生分科会、若狭地区高齢者交通安全大会
22	(月)	令和7年第3回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会、福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市)
18	(木)	予算決算常任委員会、全員協議会
17	(水)	令和7年第3回小浜市議会定例会、議会運営委員会
10	(水)	県立大学小浜・かつみキャンパスを育てる会施設見学会・研修会
16	(火)	令和7年第3回小浜市議会定例会
12	(金)	公立小浜病院組合議会常任委員会
10	(水)	議会運営委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会
5	(金)	総務民生常任委員会・分科会
4	(木)	産業教育常任委員会・分科会、福井県市議会議長会福井県要望(福井市)
1	(月)	令和7年第3回小浜市議会定例会、予算決算常任委員会
29	(金)	広報委員会
26	(火)	全員協議会
25	(月)	議会運営委員会、公立小浜病院組合議会
23	(土)	福井県戦没者追悼式および終戦80年福井県戦没者遺族大会(越前市)
21	(木)	福井県港湾協会通常総会(敦賀市)
20	(水)	議会運営委員会、議会報告会連絡会
19	(火)	京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会および鯖街道まちづくり連携協議会合同による滋賀県要望(大津市)
14	(木)	万灯祭
12	(火)	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会総会
10	(日)	高浜町長故野瀬豊氏町民葬(高浜町)
8	(金)	全員協議会、福井県市議会議長会定期総会(福井市)

◆ 9月

※次ページに続く

令和7年第3回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件 名	項目	件 名
報告	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の報告について	条例	小浜市議会議員および小浜市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について		小浜市附属機関設置条例の一部改正について
	債権の放棄について	その他	若狭町の上水道施設の利用に関する若狭町との協議について
	議会の委任による専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）		令和6年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について
予算	令和7年度小浜市一般会計補正予算（第2号）	認定	令和6年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		令和6年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		令和6年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		令和6年度小浜市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市産業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）		令和6年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和7年度小浜市水道事業会計補正予算（第1号）		令和6年度小浜市水道事業会計決算の認定について
	令和7年度小浜市下水道事業会計補正予算（第1号）		令和6年度小浜市下水道事業会計決算の認定について
	令和7年度小浜市一般会計補正予算（第3号）		
条例	小浜市職員の育児休業等に関する条例および小浜市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	意見書	北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書
		人事	教育委員会教育長の任命について（小坂康之さん）

賛否が分かれた議案等

否＝賛成少数（否決・不採択）
○＝賛成 ×＝反対

項目	件 名	採決結果	浦合梨華子	佐野達也	上野一	世戸玉枝	武長由里子	東野浩和	川代雅和	岡泰宏	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	池田英之	小澤長純	今井伸治	下中雅之	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対
請願	パレスチナにおける人道危機への対応を日本政府に求める意見書の提出に関する請願	否	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	3	13

※竹本雅之議員は議長のため、採決には加わっていません

編集後記

このたび、小浜市議会では「市民と共に歩む開かれた議会」を目指し、議場開放や議場見学ツアーを企画しました。これらの取組みを通して、議会をより身近に感じていただければと考えています。

本市議会では議会だよりを年間4回発行し、さまざまな施策についての審査の様子などを幅広く掲載しています。本紙が市民の皆さまと議会とをつなぐ懸け橋であり続けるよう、分かりやすい紙面作りに努めてまいります。

広報委員会 委員 佐野 達也

◆ 9月

25（木）総務民生常任委員会・分科会（決算審査）

26（金）産業教育分科会（決算審査）

27（土）越前市市制施行20周年記念式典

29（月）産業教育常任委員会・分科会（決算審査）

30（火）小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会正副会長会議

◆ 10月

1（水）議会報告会連絡会、予算決算常任委員会管内視察、赤い羽根共同募金街頭募金活動

2（木）公立小浜病院組合議会

3（金）予算決算常任委員会、ハラスメント防止に関する議員研修、広報委員会、小浜市表彰選考委員会

6（月）若狭消防組合議会定例会

8（水）議会運営委員会、全員協議会、令和7年第3回小浜市議会定例会

※前ページから続く

開催します！

議会報告会

皆さまの**声**を
お聴かせください

市議会では、「市民と共に歩む開かれた議会」を目指し、全ての地区で議会報告会を開催します。活動を報告するとともに、市民の皆さまのご意見をお聴きし、議会活動に反映します。



日時
開催地区

10月31日(金)

19:30～21:00

西津 (1班)
内外海 (2班)
小浜 (3班)
宮川 (4班)

11月13日(木)

19:30～21:00

中名田 (1班)
加斗 (2班)
国富 (3班)
雲浜 (4班)

※ 口名田、遠敷、今富、松永
の4地区では10月23日(木)
に開催しました

会場

各地区のコミュニティセンター(従来の公民館)

班構成

1班

佐野 達也
世戸 玉枝
東野 浩和
竹本 雅之
小澤 長純

2班

浦谷 梨華子
岡 泰宏
藤田 靖人
池尾 正彦

3班

上野 一
川代 雅和
牧岡 輝雄
下中 雅之

4班

武長 由里子
池田 英之
今井 伸治
富永 芳夫

内容

- ①北陸新幹線小浜・京都ルートについて
- ②地域公共交通の今後について
- ③意見交換(市民の皆さまからご意見やご質問をお受けします)

議会を傍聴しませんか？
～12月定例会の予定～

以下の会議は傍聴することができます。

傍聴される際には、議場・会議室に入室される前に必ず、市役所5階の議会事務局で受付をお願いします。会議の途中でも入退室できますので、ご都合の良い時間に、ぜひお越しください。

- 11月27日(木) 本会議・予算決算常任委員会
- 12月 2日(火) 総務民生常任委員会・分科会調査
- 3日(水) 産業教育常任委員会・分科会調査
- 11日(木) 本会議(一般質問)
- 12日(金) 本会議(一般質問)
- 15日(月) 予算決算常任委員会
- 18日(木) 本会議

※状況に応じて、変更が生じる場合があります

ホームページを
ご覧ください！

議会で審査する議案や採決結果、次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後2週間程度で視聴できます)など、さまざまな情報を発信しています



議員の椅子に 座って見たら…

議場開放を実施
8月18日～29日

議場を自習室として開放したイベントには、平日の10日間で延べ51人にご利用いただきました。

アンケートには20人が回答し、全員が「また利用したい」「やや利用したい」と答えてくださいました。

利用しての
感想など
詳しくは
こちらから▶



【今号の表紙】8月20日(水)の議場の様子です。

涼しく広々とした空間で、勉強ははかどったでしょうか？

議場見学ツアー in 小浜市議会

参加者を大募集！

普段は入ることのできない議場を見学することができる
またとない機会です。
市議会の雰囲気一度味わってみませんか。

5階から眺める
景色も格別

実施
日時

平日の午前10時から午後5時
(最終受付:午後4時15分)
定例会会期中などを除きます

実施
内容

市議会の仕組みの説明、市議会クイズ
5階フロアの見学、記念撮影など
所要時間は、30分から45分程度

場所

小浜市役所 5階 議場ほか

申し
込み

原則として実施日の2週間前までに
次のいずれかの方法で申し込む
電話・FAX・メール・電子申請

参加
対象

市内に在住、在学または在勤する人
を含む3人以上のグループ
小学生以下の方は保護者同伴
学校の社会科見学も大歓迎

問い
合わせ

小浜市議会事務局
電話:0770-64-6035
FAX:0770-52-0400
メール:gikai@city.obama.lg.jp

詳しい
募集要項、
申し込みは
こちらから
▼

